



Libertad y Orden
Embassy of Republic of Colombia
在日コロンビア大使館



コロンビア駐日領事館
COLOMBIA JAPON (OFICINA DE ASISTENCIA)

Ballet Folklorico De Antioquia

あふれ出るラテン。リアル・コロンビア!

アンティオキア民族舞踊団

コロンビアが世界に誇るスーパー民族舞踊団、日本初上陸!!

振付:マウリシオ・アリスティサバル 音楽監督:フアン・パブロ・アコスタ・ガジェーゴ 演奏:ティエラアデントロ(ミュージシャン5名/女性歌手1名)
演目:クンビア、サンアグスティンの踊り、クルラオ、マバレ、コーヒー農園の踊り、パランキージャのカーニバル、グアチエルナ、サルサ...etc.



2008.8.20 (wed)

OPEN ▶ 18:00 / START ▶ 18:30

昭和女子大学人見記念講堂

S席 ¥4,500 A席 ¥3,500 (全席指定)

チケット取扱い ◆ 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード387-915) ◆ イープラス <http://eplus.jp> (PC&携帯) ◆ ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード36955)
問い合わせ: SALSA120% 03-3463-3120 salsa@salsa120.jp www.salsa120.jp



主催: 在日コロンビア大使館 制作: SALSA120%

後援: セルバンテス文化センター東京 協賛: Brastel 協力: Mundo Latino

アンティオキア民族舞踊団・初来日公演応援団



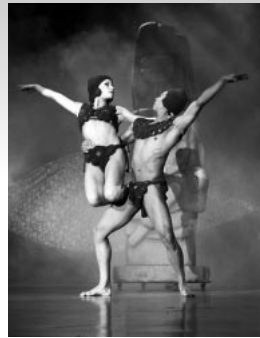
RITMO DE CALI / エウリピデスのキューバダンス / ¡SALUD! (SALSA CLUB) / PLATINA GROUP / RIKO@DANZA CUBANA / RYU
DANCE STUDIO "CASINO" / STUDIO PEPE / サルサクラブラキア。 / KMICCO★SALSALION / 横浜サルサ / IMPACTO LATINO / Tropical NY

次回公演

“コレヒオ・テル・クエルポ”公演

10/29(水)・30(木) 六行会ホール 開場18:00/開演18:30 前売¥5,000/当日¥5,500(自由席)
問: SALSA120% 03-3463-3120 salsa@salsa120.jp www.salsa120.jp

日本コロンビア修好100周年記念 アンティオキア民族舞踊団



振付:マウリシオ・アリストイサバル
音楽監督:フアン・パブロ・アコスタ・ガジェーゴ
来日ダンサー14名
演奏:ティエラアデントロ(ミュージシャン5名/女性歌手1名)

ラテン芸能のテーマパーク コロンビア

中米パナマ運河を介して北米に通じる、南米大陸の北部に位置するコロンビア共和国は、コーヒーやエメラルド、切り花などの輸出産業で、私たちに馴染みの深い国です。ラテンアメリカの国々は、様々な情熱的な音楽とダンスが親しまれていることは知られていますが、コロンビアはその縮尺型と言っても良いほど、多種多様な音楽とダンスがひしめいている、知られざる音楽大国でもあります。タンゴにホローポにソんにマリアッチ楽団…こうした周辺諸国の音楽文化はコロンビアでも日常化し、さらに地域によって様相の異なるコロンビア生まれの音楽の数々も、目眩がするほどバラエティ豊かです。言わばコロンビアは、ラテン・エンターテインメントのテーマパークのような存在と言えるでしょう。

今年、日本・コロンビア間で修好通商航海条約が1908年に締結されてから100年目にあたります。そしてそれを記念する催しの目玉として、コロンビア文化使節を担うべく、スーパー民族舞踊団"アンティオキア民族舞踊団"の初来日公演が、いよいよ実現となります。

アンティオキア民族舞踊って?

1991年に創立されたアンティオキア民族舞踊団は、コロンビア第2の都市、メデジンにホームタウンとする舞踊団で、国内500・海外200を超える公演を重ね、民俗的な伝統舞踊を基本としながら、モダンかつ芸術性に富み、高度な技術と誰もが魅了される表現力によって、

国際舞台でも高い評価を獲得、ディジョン民族舞踊国際大会(仏)、アグリエント国際民族舞踊フェス2003(伊)など数々の受賞歴を誇っています。表現者としてのクリエイティビティを持つ一方、コロンビア伝統芸能の普及や教育にも熱心な舞踊団です。

演目について

●クンビア

世界で最も知られるコロンビアン・リズム、クンビア。発祥地である北部の民俗的なものから、サルサやポップスのような大衆音楽、先端的なハウスミュージックなど、様々なシーンに登場します。伝統的なクンビアで用いられる、ソブレロ・フエルティアオと呼ばれる縞模様の帽子と白い衣装は、コロンビア民族の象徴でもあります。

●サンアグスティンの踊り

アンデス山系の高地サンアグスティンは、ユネスコ世界遺産に登録されている、ユニークな巨石群のある遺跡で知られています。このパートで踊られる先住民色の強いダンスは、他とは異なる

東洋的な静かさを持ちますが、ゆっくりと力強いその踊りは、ダンサーの肉体的な負荷を最も要するものではないでしょうか?

●クルラオ

コロンビア西部の太平洋沿岸は、アフリカ文化の色合いが濃い地域です。数あるアフロ・コロンビアン・リズムの中で、最もポピュラーな音楽とダンスとして知られるのがクルラオ。カラフルな衣装をまとった女性ダンサーたちの華やかな踊りが、とても美しい演目です。

●マバレ

北部カリブ海側のアフロ・コロンビアン・リズムの代表格がマバレです。ビーチリゾートに訪れた観光客が最も目にする踊りだと思います。いかにもアフリカらしい、激しい太鼓のリズムとダンスが特徴的です。

●バランキージャのカーニバル/グアチェルナ

北部カリブ海側の交易地バランキージャは、カーニバルで有名な街です。リオ(ブラジル)やオルーロ(ボリビア)と共に、南米三大カーニバルに数えられています。原色の鮮やかな衣装やマス

ク、ダンスブルなカーニバルリズム、グアチェルナの夜の宴の再現が一層の高揚感をもたらします。

●サルサ

ラテン・ダンスミュージックとして世界で愛されているサルサ。カリという都市が「サルサの都」と呼ばれるように、コロンビアでもサルサは中心的な存在です。民俗的な演目だけでなく、アンティオキア民族舞踊団のコンテンポラリーな側面も楽しめます。

この他「コーヒー農園の踊り」などの創作度の高いパフォーマンスも予定されています。

世界的に有名なシャキーラやフアナスといった、コロンビア出身のアーティストたちの音楽が、どのような伝統の上に成り立っているかを知るのにも、最良の機会でしょう。

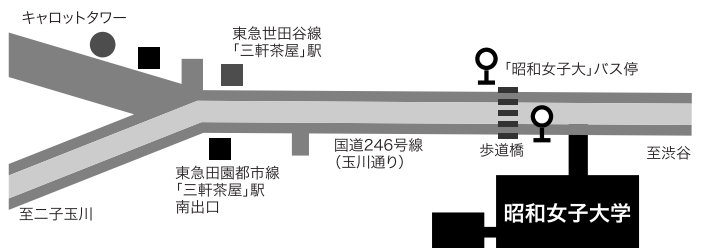
オモチャ箱をひっくり返したような、コロンビアの溢れんばかりのラテン・エンターテインメントと芸術の世界を、是非この機会にご覧になってください。

『SALSA120%』編集長 山口誠治

■会場ご案内

昭和女子大学 人見記念講堂

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7
TEL.03-3411-5120
(東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分)



※やむを得ない事情により、演目が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



次回公演予告

コロンビア最高のコンテンポラリー・ダンスショー!
“コレヒオ・デル・クエルポ”公演

10/29(水)・30(木) 開場18:00 開演18:30

料金:前売¥5,000 当日¥5,500(自由席)

六行会ホール

問: SALSA120% 03-3463-3120

salsa@salsa120.jp www.salsa120.jp